

## NEWS RELEASE

2015-05

2015.9.9

### 梅田阪急ビル南北コンコースの新しいクリスマス・イルミネーション

ゼロ プラットフォーム

## 過去と未来を結ぶ出発点「0号線のPLATFORM」を開催します

その昔、阪急電車の出発点だった場所にLEDイルミネーションによる光の駅空間が出現

11月19日(木) から 12月25日(金) まで



クリスマス・イルミネーション「0号線のPLATFORM」イメージパース

阪急電鉄では、梅田阪急ビル1階(阪急百貨店うめだ本店前)の南北コンコースで、過去3年にわたって実施してきた内容を一新し、新たにクリスマス・イルミネーション「0号線の PLATFORM」を開催します。

阪急百貨店うめだ本店のグランドオープンにあわせて、2012年に始めたクリスマス・イルミネーションは、南北コンコースの大規模な空間と雰囲気から、多くの方々に親しまれています。

今年は、南北コンコースがその昔、阪急電車の起点である梅田駅であったことに注目し、過去の歴史や文化に思いを馳せ、この場所が未来への新たな出発点になるよう想いを込めたイルミネーションを開催します。

シンプルな光色のLEDで表現した列柱はプラットフォームをイメージし、また、列車の出発を告げる時計の歯車部分をイメージしたパーツを、ゴールドやアンバー、プラチナの美しい光色のLEDで表現しており、訪れる皆様の心に残る特別なイルミネーション空間です。

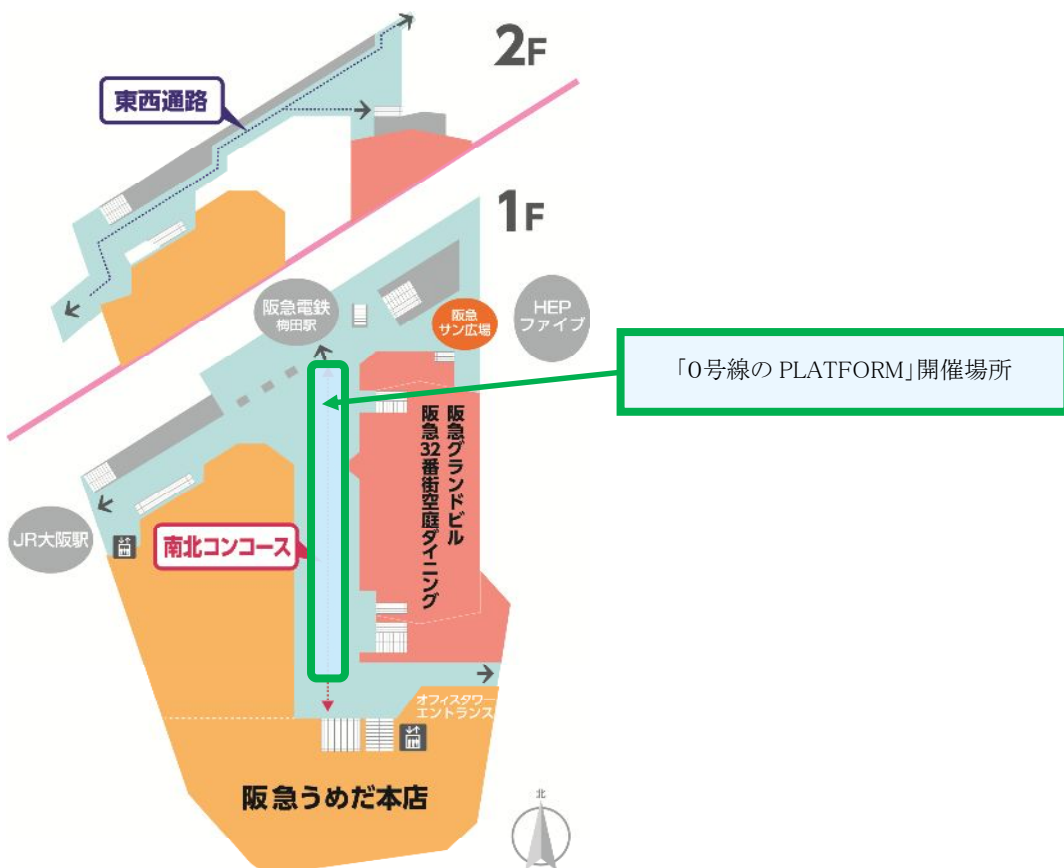
クリスマス・イルミネーション「0号線の PLATFORM」の詳細は次ページのとおりです。



ゼロ プラットフォーム

## クリスマス・イルミネーション「0号線のPLATFORM」概要

- テーマ 過去と未来を結ぶ出発点
- コンセプト
  - ・かつての阪急グランドドームをオマージュした『光のアーチ』
  - ・駅舎をイメージした奥行き感のある『光の列柱』
  - ・列車の出発を彷彿させる『時計ディスプレイ』
- 実施期間 2015年11月19日(木)～12月25日(金) (37日間)
- 点灯時間 10:00\* ～ 24:00  
\*:初日(11月19日)の点灯開始時間は、イルミネーションの点灯にあわせた演出を行うため調整中です。
- LED使用個数 合計約10万球のLED電球を使用
- 実施場所 梅田阪急ビル1階(阪急百貨店うめだ本店前)「南北コンコース」  
(コンコースの天井高さ9m×通路幅16.5m)



(以上)

【添付資料】ご参考 阪急梅田駅の変遷(簡略年表)

【リリース同時配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、大阪商工記者会、関西レジャー記者クラブ

**ご参考 阪急梅田駅の変遷（簡略年表）**

年月日	主なできごと
1907年10月19日	箕面有馬電気軌道株式会社設立。
1910年 3月10日	<p>宝塚本線(梅田～宝塚)、箕面支線(石橋～箕面)営業開始。 現在の梅田阪急ビル南端部分に地平式単線ホームにより梅田駅が開業。</p>  <p style="text-align: right;">←開業当日の梅田駅</p>
1918年 2月 4日	阪神急行電鉄株式会社に社名を変更。
1920年 7月16日	神戸本線(梅田～神戸[上筒井])、伊丹支線(塚口～伊丹)営業開始。
1926年 7月 5日	梅田駅を高架駅に改築。高架4線ホーム(神戸・宝塚線)と地平1線ホーム(北野線)となる。
1929年 3月28日	<p>梅田阪急ビル(第1期ビル)竣工。 4月15日、同ビルで阪急百貨店が開業。</p> 
1934年 6月 1日	国鉄(現:JR)大阪駅の高架化にともない、梅田駅を再び地平駅に切り換える。
1943年10月 1日	戦時下の国策にそって京阪電気鉄道株式会社と合併し、社名を京阪神急行電鉄株式会社に変更する。
1959年 2月18日	<p>梅田駅～十三駅間を三複線化する。神戸線・宝塚線は各3線、京都線は2線の計8線9ホームとなる。当時の梅田駅の乗降人員は1日平均37.1万人で全国の私鉄のターミナルのトップを誇った。これにより車両の編成両数も増えて長くなり、梅田駅ホームの延伸が急務の課題となったが、国鉄(現:JR)の高架をくぐるガードの長さが限界となり、それ以上のホームの延伸は不可能に。そこで、駅を国鉄線の北側、現在の梅田駅の場所に、高架化して移設する計画が持ち上がった。</p>  <p style="text-align: center;">移設工事前の梅田駅 写真上方のビルは梅田阪急ビル、写真右上は国鉄(現:JR)大阪駅</p>

年月日	主なできごと
1966年 2月 1日	<p>お客様の増加に対応するため、梅田駅を国鉄(現:JR)線の北側に移設して拡張する工事が始まる。</p> <p>神戸線から宝塚線、京都線の順にホームの移設を行った。</p> <p>マル粹内が移設前の梅田駅があった場所(旧梅田駅の跡地)</p> 
1973年 4月 1日	阪急電鉄株式会社に社名変更
1973年11月23日	私鉄最大級のターミナルとして、9線10ホーム、10両連結用ホームを備えた、梅田駅(現在)が完成。
1977年 7月27日	<p>旧梅田駅の跡地に阪急グランドビルを建設するとともに、同ビルと阪急百貨店うめだ本店との間を南北に貫く大コンコースと、その南端部に高さ18mのゴシック風の「阪急グランドドーム」が誕生。</p>   <p>↑ 建て替え工事前の旧「南北コンコース」</p> <p>← 阪急グランドドーム</p>
2005年 2月 7日	<p>梅田阪急ビルの建て替え計画を発表。工事をビルの南北で分け、南側をⅠ期棟、北側をⅡ期棟として2段階で施工し、建て替え工事中も阪急百貨店の営業は継続した。</p> <p>2005年春より工事に着手。南側の解体後にⅠ期棟部分の新築工事を実施。</p>
2009年 9月 3日	阪急百貨店うめだ本店Ⅰ期棟オープン。梅田阪急ビルの建て替え工事、北側の解体に着手。同解体後にⅡ期棟の新築工事を開始。
2010年 4月 1日	梅田阪急ビルオフィスタワー竣工(開業は同年5月6日)
2012年 9月28日	梅田阪急ビル建て替え工事竣工
2012年10月20日	梅田阪急ビル1階(阪急百貨店うめだ本店前)「南北コンコース」全面開通(南北コンコース:幅=約16.5m、天井高=約9m、長さ=約100m)
2012年11月21日	阪急百貨店うめだ本店グランドオープン